

# 統計アラカルト

熊本の統計情報 平成31年(2019年)3月18日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

## 今年1月から、和水町出身の金栗四三さんを主人公とした大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺(ばなし)～」が絶賛放映中ですね。

金栗さんは、日本人初のオリンピック選手として、第5回ストックホルム大会の男子マラソンに出場し、「東京箱根間往復大学駅伝(箱根駅伝)」の開催にも尽力するなど、生涯にわたってスポーツの振興・発展に力を注がれました。

今回は、「日本マラソンの父」といわれる金栗さんにちなんで、「ジョギング・マラソン」について取り上げます。

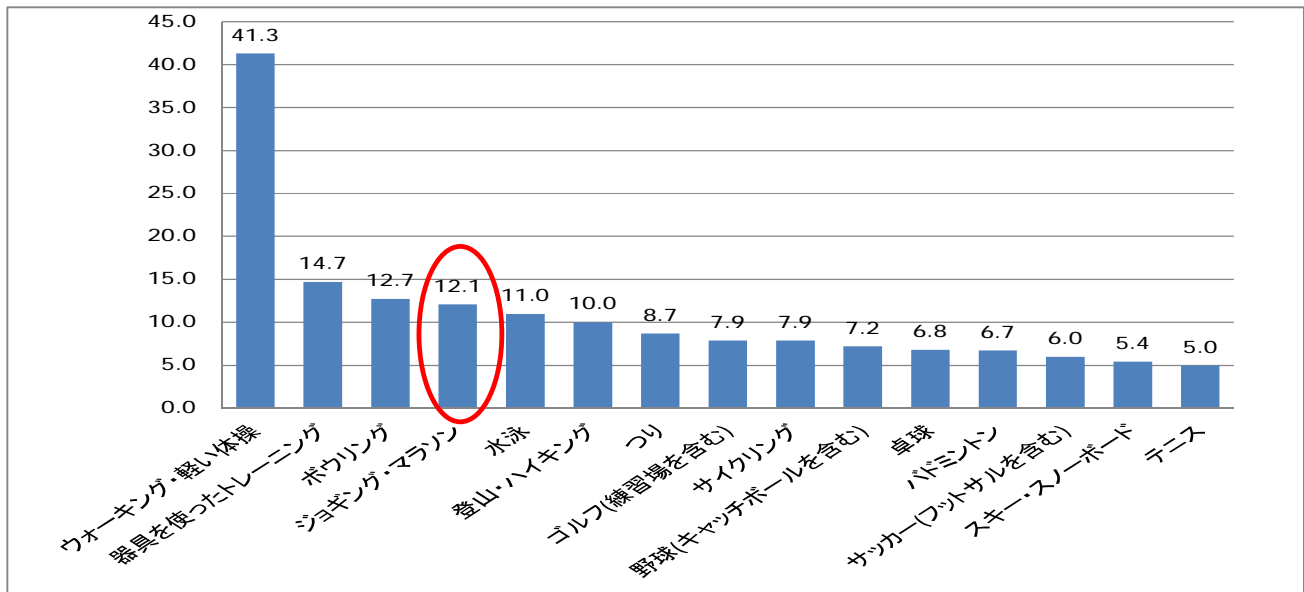
総務省が実施した「社会生活基本調査」の結果をもとに、「ジョギング・マラソン」の項目について見てみましょう。

社会生活基本調査は、生活時間の配分や余暇時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的として、5年ごとに行われている調査です。直近では平成28年10月20日を基準日として行われています。

平成28年の全国結果では、「スポーツ」全体での行動者率は、「ジョギング・マラソン」は、12.1%で4位です。ちなみに、1位は、「ウォーキング・軽い体操」で41.3%となっています。

【全国】スポーツにおける行動者率(平成28年 上位15種)

(単位: %)



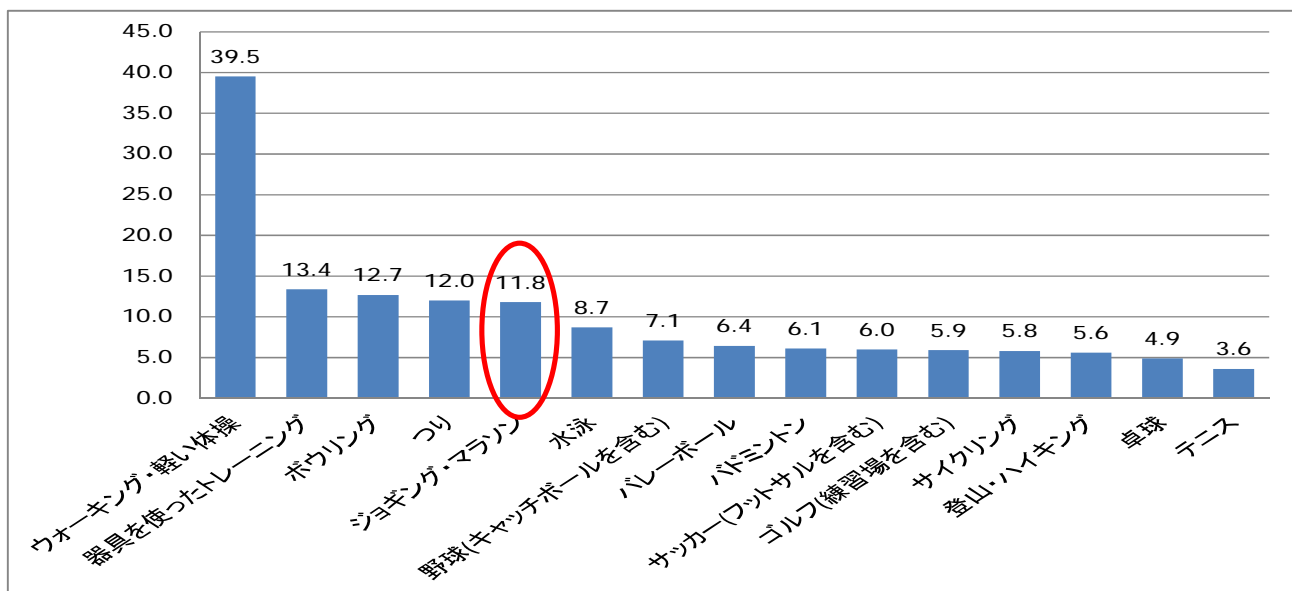
(出典:総務省統計局「社会生活基本調査」の結果を加工して作成。以下同様)

行動者率:10歳以上人口に占める過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合(%)

熊本県の結果を見てみましょう。1位は、39.5%の「ウォーキング・軽い体操」で、全国と同じですが、「ジョギング・マラソン」は、11.8%で5位となっています。全国・熊本県とも「ジョギング・マラソン」は上位にあり、人気のあるスポーツであることがわかります。

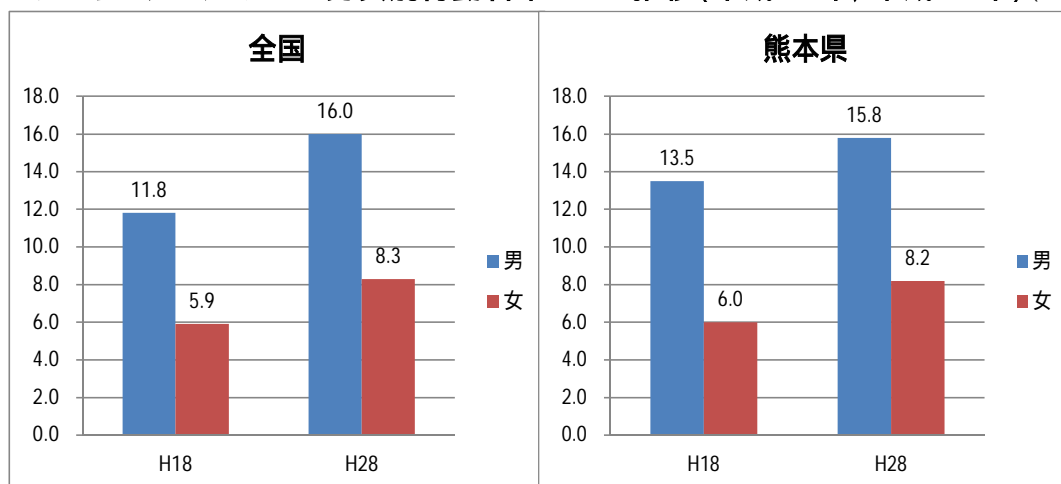
【熊本県】スポーツにおける行動者率(平成28年 上位15種)

(単位:%)



次に、男女別の行動者率とその推移を見てみましょう。

ジョギング・マラソンの男女別行動者率とその推移(平成18年、平成28年)(単位:%)



男女別行動者率を見てみると、全国、熊本とも男性のほうが高い割合となっています。また、平成18年と平成28年を比較すると、全国、熊本県とも、平成28年のほうが高い割合となっています。

先月開催された熊本城マラソンでは、12,352名の方々がフルマラソンにチャレンジし、うち、11,550名の方々が完走されました。(完走率93.5%)

あなたも熊本城マラソンへの出場を目指して、ジョギングやさらに軽いウォーキングあたりから始めてみませんか。

熊本県の統計情報は

「[http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c\\_id=3&class\\_set\\_id=1&class\\_id=1297](http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297)」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、平成31年(2019年)4月に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp